

# 県内経済の動き

## [ 4月～6月の動き ]

### 概況 住宅着工が増加（5月）・建設業の不振は続く

4月の鉱工業生産指数は低下したが、5月中の大口電力使用量や輸出額でみた生産の動きは好調だった。大型小売店の販売額ではスーパーがやや苦戦し（5月）、軽乗用車の販売台数は高水準だった前年を下回ったが（6月）、依然、堅調といえる。住宅着工では（5月）、宮崎市と都城市でマンション・アパート（「分譲」「貸家」）の着工が目立ち、県全体の増加に寄与した。月間有効求人倍率（5月）は前月比わずかに改善した。「市町村」による公共工事の発注は堅調だったが、全県では前年を下回った（5月）。

企業の破綻では（6月・総数9件）土木・建築など建設業の倒産が依然目立ち（6件）、当期（4～6月累計）の倒産27件のうち、14件を占めた。 （枝元）